

デーリー東北  
2019年(令和元年)11月21日(木曜日)(15)

小林眞八戸市長(左)に意見を述べる新成人



## 暗い通学路に街灯設置を 新成人と市長が意見交換

八戸

八戸市の小林眞市長と、本年度20歳を迎える新成人代表者との懇談会が17日、八戸グランドホテルで開かれ、出席した新成人9人と小林市長が、高齢者や子どもに優しい街づくり、観光資源の活用、中心市街地の活性化など、多岐にわたるテーマについて意見を交わした。

市が主催し、毎年開催している。今回は、いずれも市内の中学校を卒業し、現在、八戸工業大や八戸学院大、八戸高専など5校で学ぶ学生が参加。一人一人が自己紹介を兼ね、将来の夢や八戸の魅力を話した後、市への要望や提言を発表した。

このうち、八戸学院大の小泉紗也佳さん(19)は、12日に同市新井田西の路上で発生した殺人未遂事件に触れ、「部活などで帰りが遅くなると、道路が暗く

て危ないし怖い。街灯を設置し、明るい通学路をつくってほしい」と要望。

八戸高専の三浦リンさん(20)は、外国人観光客を増やし、街を盛り上げるべきだとして、「青森空港から八戸へ連絡バスを運行させては」と提言した。

これらに対し、小林市長は「街灯は順次、発光ダイオード(LED)に取り換えていく。地域から声を上げてほしい」「八戸を訪れる外国人の数は、実は青森県内で一番多い。VISIT(ビジット)はちのへが発足し、観光面で力を入れている」などと話した。

進行役を務めた八戸青年会議所の金入健雄理事長は「20歳ならではの意見を率直に話してくれてうれしい。今抱いている思いを忘れずに」と新成人にエールを送った。

(松橋広幸)